

**2018全日本実業団選手権大会 参戦**

日時：平成30年6月13日～17日  
場所：山口県周南市、下松市  
結果：9位入賞（ベスト16）

**【開会式】**

地元開催となった全日本実業団大会。開会式で佐野主将がACT SAIKYO・斎藤選手と選手宣誓を行いました。



**【決勝トーナメント1回戦】**

宇部興産は昨年度ベスト8の為、予選リーグは無く、シードからのスタートです。初戦の相手は西日本シティ銀行で、安定した試合運びで勝利します。

全日本実業団 1 回戦				全日本実業団 2 回戦					
宇部興産	3	-	0	西日本シティ銀行	宇部興産	3	-	2	北都銀行
松尾 光平 古城 晃	2	$\left( \begin{matrix} 21 - 9 \\ 21 - 17 \end{matrix} \right)$	0	有田 雄紀 仮屋 健人	松尾 光平 古城 晃	2	$\left( \begin{matrix} 21 - 11 \\ 21 - 17 \end{matrix} \right)$	0	甲谷 望快 備前 快
青見 領 森永 雅弘	2	$\left( \begin{matrix} 21 - 14 \\ 21 - 14 \end{matrix} \right)$	0	佐分利 亮汰 田中 祐聖	青見 領 森永 雅弘	0	$\left( \begin{matrix} 14 - 21 \\ 15 - 21 \end{matrix} \right)$	2	伊藤 広太 中村 圭輔
佐野 拓磨	2	$\left( \begin{matrix} 21 - 16 \\ 21 - 16 \end{matrix} \right)$	0	仮屋 健人	藤井 湧真	0	$\left( \begin{matrix} 13 - 21 \\ 8 - 21 \end{matrix} \right)$	2	甲谷 望
藤井 湧真		$\left( \quad \quad \right)$		有田 雄紀	佐野 拓磨	2	$\left( \begin{matrix} 21 - 11 \\ 19 - 21 \\ 21 - 14 \end{matrix} \right)$	1	中村 圭輔
青見 領		$\left( \quad \quad \right)$		佐分利 亮汰	松尾 光平	2	$\left( \begin{matrix} 12 - 21 \\ 21 - 11 \\ 21 - 14 \end{matrix} \right)$	1	伊藤 広太

**【決勝トーナメント2回戦】**

続く2回戦目はシード権を掛けた一番大事な場面です。勝てばベスト16に入りシード権が得られ、負ければ予選からスタートすることになる絶対に負けられない勝負です。ダブルスは1対1のイーブン。シングルス勢に勝敗が委ねられました。若手の藤井選手が敗れ、佐野選手がファイナルを制して勝ち。最後はチーム一のベテラン、松尾選手。1ゲーム目は12点で相手に先取されるも、そこから息を吹き返し、2ゲーム目、3ゲーム目ともに点数を引き離しての勝利。やはり頼りになる漢（おとこ）です。辛勝とはなったものの白星を挙げて、ベスト16入りを達成。

### 【決勝トーナメント3回戦】

続いての相手は丸杉。宇部興産と同じ日本リーグに属するチームです。日本リーグでも宇部興産よりも上位ランカーの為、格上との対戦になります。勝てばベスト8という大きい壁を突破するために奮闘しますが、結果は力及ばず敗退です。昨年度の成績を一つ落としはしたものの、シード権を維持でき来年につなげることができました。またS/Jリーグ2（本年より改称）に向けての課題も見えこれからの取り組みに活かします。

全日本実業団3回戦				
宇部興産	0	-	3	丸杉
古城 晃 藤井 湧真	0	$\left[ \begin{array}{c} 21 - 23 \\ 16 - 21 \end{array} \right]$	2	浦井 唯行 三浦 昂
松尾 光平 青見 領	0	$\left[ \begin{array}{c} 18 - 21 \\ 13 - 21 \end{array} \right]$	2	石川 直樹 大森 康平
佐野 拓磨	0	$\left[ \begin{array}{c} 12 - 21 \\ 12 - 21 \end{array} \right]$	2	小高 拓也
藤井 湧真		$\left[ \quad \quad \right]$		間瀬 俊介
松尾 光平		$\left[ \quad \quad \right]$		大森 康平

### 【米元監督コメント～大会を終えて～】

地元山口県開催でもあり、例年以上に気合いの入った練習をしてきました。特に決勝トーナメント2回戦の北都銀行戦は逆転に次ぐ逆転で3-2で辛くも勝利。チーム全員で来年のシード権を獲得しました。

また、本大会は新入部員の藤井が団体戦に初出場を果たしました。試合では敗れたものも、随所に可能性を見せる動きを見せました。今後の活躍に注目の選手です。

宇部興産バドミントン部後援会会長 石川 好夫

本紙に関するお問い合わせは [e-mail : 25742u@ube-hp.or.jp](mailto:25742u@ube-hp.or.jp)

〒755-0024 山口県宇部市野原1-2-38  
宇部興産バドミントン部後援会事務局 吉川 直樹